Cure and Care communication
第90号
C&Cコミュニケーション
発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1
Tel.082-923-8333㈹ http://www.pia-gr.or.jp/
医療法人ピーアイエー
ナカムラ病院
介護老人保健施設 まいえ
グループホーム つばい
社会福祉法人双樹会
特別養護老人ホーム 陽光の家
通所介護事業所
訪問介護事業所
居宅介護支援事業所

認知症カフェについて

当法人では、広島市の施策である平成二十八年度「認知症カフェ運営モデル事業」の趣旨に賛同し、このたび認知症カフェ「サロン・ド・ファミーユ」を開設することとなりました。

広島市の事業趣旨とは、「認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、認知症の人とその家族、地域住民、専門職等が気軽に集い、相互交流を図るとともに、専門職による相談・助言等により、認知症の人とその家族の孤立化防止や地域で認知症の人とその家族を支える体制づくりを進める。」というものです。

現在、日本では軽度認知障害(MCI)の人を含めると、約八百万人の認知症高齢者がいると言われています。国民の約十五人に一人、六十五歳以上の高齢者の約四人に一人が認知症あるいはその予備群ということになります。認知症は高齢になればなるほど、発症するリスクは高まります。ですから特別な病気ではなく、歳をとれば誰にでも起こりうる、身近な病気となっています。当法人は、昭和五十三年の開設当初より高齢者専門の病院として、特に認知症の医療に力を入れて地域に密着した医療を提供してまいりました。長年培ってきたノウハウを活かして、皆さまにご満足いただけるようなカフェの運営を目指していきたいと考えております。

今後、高齢化が進む中で、認知症の人がさらに増加することが懸念されており、一医療機関での対応は困難となってきております。認知症の人やご家族の支援は、医療、介護、行政、地域住民が連携し地域全体で対応していく必要があります。認知症カフェは、認知症の人やご家族が安心して生活することができる地域作りに重要な役割を果たすと考えております。当法人の認知症カフェは、認知症の人やご家族、地域の人が集まり語り合い自由な時間を楽しみながら交流できるほか、認知症専門の病院として、各専門職による認知症基礎知識、介護教室、栄養指導など、皆さんのニーズに合わせたミニレクチャーを行い認知症啓発活動も行っていきます。また医療や介護・福祉に関する相談や情報提供も行っていきます。

地域にお住まいの方ならどなたでも自由に参加していただけます。事前予約は不要ですので、当日気が向いたときなどお気軽にお越しください、美味しいお菓子とお飲み物をご用意して、皆さまのご来店を心よりお待ちしております。

地域連携センター
センター長補佐 中村 智子

ご案内

店名 サロン・ド・ファミーユ

カフェの名称は、「家族が集う語らいの場」をイメージして、カフェの本場であるフランスの言葉を用いて命名しました。

開催日時 毎月第3金曜日 13：30～16：30
【第1回】10月21日(金)／【第2回】11月18日(金)開催予定

開催場所 ナカムラ病院A棟2階食堂内

参加対象 認知症のご本人やご家族、地域住民の人、専門職の人など認知症に関心のある人ならどなたでも参加可能です。

参加費 無料 ※駐車場を利用希望の方は前日17時迄にご連絡ください

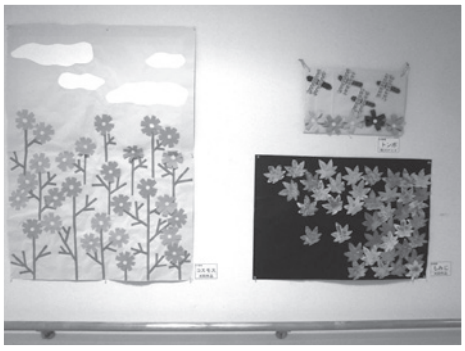
運営スタッフ 医師、看護師、介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、管理栄養士、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、心理士、薬剤師等
以上の専門職のうち3名を常時配置しております。相談の内容に応じて、より専門的な助言が出来る専門職と連携し柔軟に対応していきたいと考えております。

お問い合わせ先
医療法人 ピーアイエーナカムラ病院
☎082-923-8333(代表)
[担当] 地域連携センター　中村

第14回 患者さま・利用者さま 作品展

毎年行っている作品展も、今年で十四回目を迎えました。今年はナカムラ病院、デイケアにぎや家、グループホームつぼいから三百点以上もの作品が集まり、介護老人保健施設まいえからは、生け花の展示が行われました。

今回、正面玄関には、縁起の良いだるまや鶴、今年の干支であるサルの人形などを飾り、演出しました。作品は、ぬり絵や貼り絵、書道、縫い物、編み物などさまざまな種類のものがあり、四季や懐かしさを感じさせるものなど、どれも見ごたえのある作品ばかりです。



患者さま・利用者さまたちと作品作りをすると、毎回いろいろな発見をします。作業に集中し、職人のような表情で作品作りにとりくむ方、花の色一つに対しても「どちらが綺麗に出来るかな…」と悩みながら取り組む方、周りの人と話をしながら楽しそうに取り組む方、「昔は子供の服は全部自分でこさえていたんよ！」と昔の話を得意気に語りながら裁縫に取り組む方、完成した作品を照れくさそうに見せてくれる方、作品をじっと見つめて愛着を示す方、などなど…。

私たち作業療法士は、何か作業をすることで、その人らしい生活が出来るように援助しています。こうした作品を作ることもその一環として行っています。今後も患者さまや利用者さまとの日々の関わりを大事にし、その人らしく、作品展のテーマでもある「今を生きる」を援助していけるよう、一人ひとりに合った作業や活動を提供していきたいと思います。

ナカムラ病院
作業療法士　山下　佳子

まいえ作品展

今年もまいえ作品展を開催しました。今年は各フロアで展示を行い、季節の作品やぬりえ、手芸など、過去一年間の作品を展示しました。また、書道・フラワーアレンジメント・トールペイントなどの教室作品も展示しました。お互いの作品をさがしながら一緒に廊下を散歩する方、面会のご家族に写真を撮ってもらう方、一日に何度も自分の作品を見ては満足そうに笑う方…。色々な楽しみ方をしていただけたようです。

介護老人保健施設 まいえ
作業療法士　中田まゆみ

シリーズ全4回

第3回 権利擁護について

今年度は地域包括支援センターの業務の一部である「権利擁護について」4回に渡って紹介しています。3回目の今回は「成年後見制度･任意後見」について佐々木亮さんにご紹介いただきました。

成年後見制度とは

認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない人は、不動産や預貯金などの財産管理、介護などのサービスや施設への入所に関する契約締結、遺産分割協議などを、自分で行うことが困難な場合があります。また、自分に不利益な契約でも、よく判断ができずに契約を結んでしまい悪質商法の被害にあうおそれもあります。

このような人の権利、財産を保護し、安心して生活できるよう支援するのが「成年後見制度」です。成年後見制度には、すでに判断能力が十分でない人を保護・支援する法定後見制度と、現在は判断能力がある人が将来判断能力が低下した場合に備えて「誰に」、「どのような支援をしてもらうか」をあらかじめ契約により決めておく任意後見制度があります。

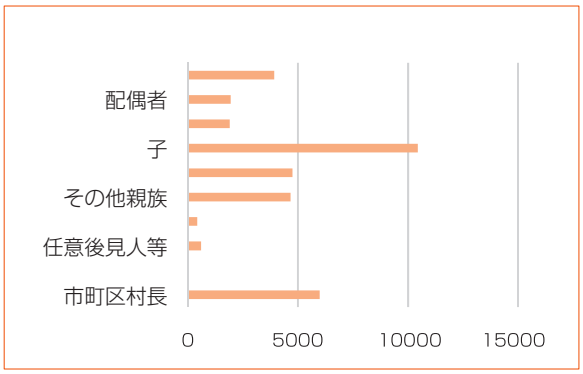
法定後見制度はさらに後見、保佐、補助の3つに分かれ、本人の精神上の障害の程度によって区別されます。利用するためには、家庭裁判所に審判の申し立てをする必要があります。ちなみに近年は3万件を超える申立件数になっております。

次に申立人と本人との関係を見ますと、本人の子供が最も多く全体の約30%を占めていますが、ここで注目したいのは身寄りのない高齢者等に対し、市町村長が本人･親族に代わって申し立てを行う市町村長申し立てが2番目に多くしかも年々増加傾向にあるということです(資料1)。

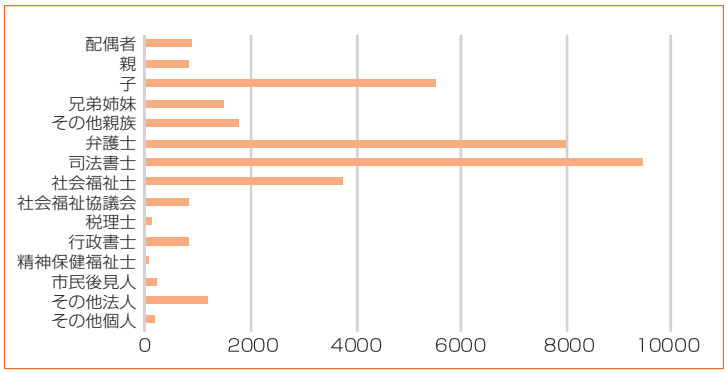
申し立ての主な動機としては、預貯金等の管理・解約が最も多く、次いで介護保険の契約（施設入所等のため）となっています。

家庭裁判所の審理を経て後見人等が決定していくことになりますが、成年後見人等と本人の関係を見ますと、配偶者･親･子･兄弟姉妹及びその他親族が成年後見人等に選任されるケースが全体の約3割、親族以外の第三者（弁護士･司法書士･社会福祉士等)が選任されるケースが約7割を占めています(資料2)。第3者後見が選任されるケースが増大している原因として、親族間の関係の希薄化、親族自身の高齢化、本人の資産をめぐる親族間紛争の深刻化等に加え、より専門的な知識が必要なケースが増えてきていることが考えられます。

以上、成年後見制度の概要を簡単に説明させてもらいましたが、さらに詳しくお知りになりたい方は、最寄りの地域包括支援センター、お住まいの区の区役所健康長寿課または保健福祉課にお問い合わせください。



(資料1)申立人と本人の関係別検数



(資料2) 成年後見人等と本人との関係別件数

最高裁判所事務総局家庭局　成年後見関係事件の概況(H27年1月～12月)より

栄養のお話

「野菜は 1 日に 350g以上」と言われていますが、実際は日本の成人が 1 日に摂っている野菜の平均は約270gです。野菜が大事！とわかっていても、必要量を食べるのは、なかなか難しいですよね。

無理せず簡単に野菜を補うために…

①野菜スープや味噌汁・野菜炒めなど、一品で沢山野菜が摂れる料理を作る
②常備菜を作っておく
③冷凍やカット野菜など利用する
④時には惣菜を購入する
⑤野菜ジュースを飲む

などなど、方法はいろいろありますが、意識して食べないと必要量は摂れません。現在よりプラス 1 皿を目標に、大地からの自然の恵みを頂きたいですね。

ナカムラ病院　栄養科主任　長村　悦子

つぼいこぼれ話

残暑 吹き飛ばそう 祭りの巻

まだ残暑厳しい八月下旬に「残暑吹き飛ばそう祭り」をつぼいリビングで開催しました。魚釣りや輪投げなどのゲームの合計点で金銀銅メダルの表彰をしました。職員と炭坑節を踊った後に昔を懐かしみ、ビンラムネも飲みました。「ここにビー玉をひっかけて飲むんよ」と教えあったり、景品の駄菓子が入っている袋を開けて、「こんなのが入ってたよ、あなたのは？」と見せあいこされたり。天井には皆さまの作った提灯がゆらめき、祭り太鼓と笛のＢＧＭの中、入居者の皆さまは、思い思いに手づくりの祭りを楽しまれているようでした。

グループホーム つぼい
介護職　福山　智恵

陽光の家通信 【敬老会】

今年も、九月十一日に陽光の家敬老会が開催されました。式典、食事会では入所者さま五十名はじめ、ご家族四十七名ご出席いただきました。入所者さまのご長寿とご健康を祈念し、盛大に敬老の日をお祝いすることができました。現在の最高齢のご長寿の方は、笑顔が素敵な百一歳の八城チサ子さまです。続いて、中国新聞を毎日隅々まで読まれている百歳の森崎幸枝さまです。お二人とも晴れやかにご家族とともに式典にご出席いただきました。敬老会式典後は、ご家族と一緒に食事会を行いました。ご家族とのお食事は格別のご様子で、松花堂弁当のご馳走を、皆さま、いつも以上にしっかりおいしくお召し上がりでした。

「すごい、大ご馳走やねえ」「やっぱり、お赤飯は美味しいねえ」「来年もお赤飯食べたいねえ」「カープと一緒にお祝いじゃ」などの感想が聞かれました。前日にはカープの優勝も決まり、お祝いムードで盛り上がりました。ご家族と過ごす食事会の時間はあっと言う間に過ぎ、楽しく幸せなひとときとなりました。

森崎　幸枝さま　　八城　チサ子さま

特別養護老人ホーム 陽光の家
総括主任　松井　誠

茶話会

青春時代によく聴いた音楽が、ふとラジオから流れてきた時に、当時の懐かしい想い出が鮮やかによみがえってきたという経験はありませんか。

当院では、定期的に病棟で茶話会を実施しています。コーヒーやお茶を飲みながら、若き日を回想することで、参加された方々は、普段よりも饒舌に、そして表情も活き活きとしてきます。

この日は、男性限定の茶話会をおこないました。皆さま全員がカープファンということで、テーマは**広島カープ黄金時代**、昭和五十年初優勝の話で大いに盛り上がりました。

「あの時は試合が気になって、仕事に身が入らんかったのぉ」

「夜に流川へ繰り出したんよ、広島中が大騒ぎじゃった」

「(当時のスコアボードを見ながら)なつかしいのぉ、みんなええ選手じゃったよ」

「今年のカープも強いでぇ、優勝してほしいのぉ」

普段は寡黙な皆さまも、この時ばかりは、往年の野球少年に戻ったかのように、表情を輝かせながらお話くださいました。

土地柄職員もカープファンが多く、初優勝を知らない若い世代にとっては、皆さまのお話が新鮮に感じられる機会ともなりました。

もしかしたら、この日一番野球少年に戻っていたのは、カープの帽子をかぶって満悦至極の筆者だったのかもしれません。

ナカムラ病院
臨床心理士　厚井　真一

長寿の秘訣

今回の「長寿の秘訣」は岩崎厚子さまにお話しをうかがいました。

▲岩崎　厚子さま(103歳)

Q 岩崎さんは先日百三歳のお誕生日を迎えられました！おめでとうございます。

A ありがとうございます。

Q 長生きの秘訣はありますか？

A とくにないね(笑)

Q お元気そうに見えますよ。

A まぁ耳はよう聞こえるけぇありがたいね。

Q ご両親もご長寿でしたか？

A そうじゃね。八十過ぎまで生きて、わりに長生きなほうじゃったね。

Q なにか健康に気をつけておられることは？

A ないねぇ。普通にしとっただけよ。(笑)牛乳は好きじゃけどね。

Q 私も長生きするにはどうしたらいいでしょうか？

A (笑)そうじゃねぇ。嘘をつかんことよね！

ありがとうございました。これからもお体に気をつけてお元気でおすごしください。

いきいき行事だより

夏 拡 大 版

▲久しぶりのビールはたまらんね

ビアパーティー

B6病棟

夏祭り

まいえ1

▲初めてのアヒルすくい

ボーリングの▶
ひととき
スイカを持って、
はいポーズ!

ボーリング大会

A3病棟

▲初めての競技 風船運んでおっとっと!

運動会

リハビリ

7月

- 七夕会(B6、まいえ1)
- 七夕まつり(B5)
- 七夕さま(つぼい)
- 七夕会と映画鑑賞(A3)
- 家族会(つぼい)
- 七夕祭り(まいえ2)
- 昼食バイキング(まいえ1、まいえ2)
- B1、B3、B4合同運動会(リハビリ)
- ゆかたまつり(にぎや家)
- 生花クラブ(陽光の家)
- 陶芸教室(陽光の家)
- 売店(陽光の家)
- 法話会【正蓮寺】(陽光の家)
- 書道クラブ(陽光の家)
- 夏祭り(陽光の家)

8月

- なつうたかい(B5)
- ビーチボールでボーリング大会(A3)
- そうめん流し(まいえ2)
- 夏まつり(まいえ2)
- 納涼お楽しみ会(全体行事)
- ビアパーティー(B6)
- フルーツバイキング(まいえ2)
- 残暑を吹き飛ばそう祭り(つぼい)
- 浴衣を着て夏を楽しむ(B7)
- ビアガーデン(にぎや家)
- 売店(陽光の家)
- 陶芸教室(陽光の家)
- 法話会【蓮照寺】(陽光の家)
- 書道クラブ(陽光の家)
- 早稲田大学寄席演芸研究会(陽光の家・まいえ)

9月

- 法話会(リハビリ)
- ドッグセラピー(まいえ2)
- 紙芝居とカラオケ大会(A3)
- バイキング(にぎや家)
- 外食(つぼい)
- 敬老会(全体行事)
- 昼食バイキング(まいえ2)
- 敬老会(つぼい)
- 運動会(B6)
- フルーツバイキング(まいえ1)
- フルーツあんみつを食べよう(B7)
- 運動会(まいえ1)
- 陶芸教室(陽光の家)
- 敬老会(陽光の家)
- 売店(陽光の家)
- 生花クラブ(陽光の家)
- 法話会【正楽寺】(陽光の家)
- 書道クラブ(陽光の家)

行事ダイジェスト

納涼お楽しみ会

全体行事

▲素敵な歌声とギターの音色に感動しました

楽しいひと時を
過ごしました

▲迫力満点!! 力強い演奏でした

第一二五回 日本補綴歯科学会 課題口演優秀賞を受賞して

この度、七月に金沢で開催された第一二五回日本補綴歯科学会課題口演において、「筋萎縮性側索硬化症患者の摂食嚥下機能評価における舌圧検査の有用性」という演題で発表させて頂き、優秀賞を賜りました。この研究、発表は広島大学先端歯科補綴学教室の研究グループと関係医療機関の協力を得て行われました。

筋萎縮性側索硬化症（ＡＬＳ）は、進行性の神経変性疾患で、有病率は人口十万人当たり七～十一人とまれな疾患ですが、進行が急速で、発症から死亡までの平均期間は約三・五年と難病です。特に摂食嚥下障害（食事がスムーズでなかったり、むせたりする）はほとんどの患者さまで認められます。以前より私達の研究グループでは、舌圧（舌で上顎を押す力）と摂食嚥下機能との関連を調べていました。そこで今回、舌圧検査を用いてＡＬＳ患者さまの摂食嚥下障害を早期に発見することができないかと考え、二十五名の患者さまを約三年間追跡調査しました。すると摂食嚥下障害が発現する際の舌圧が二一・〇 kPa程度であることが明らかとなり、ＡＬＳと診断された直後から舌圧検査を行うことで、摂食嚥下障害の発現を早期に予測できる可能性が示されました。今後私達の研究が、多くのＡＬＳ患者さまのＱＯＬ（生活の質）の維持、改善に貢献することを期待しています。

最後になりましたが、本研究を遂行するにあたり御指導をいただきました広島大学先端歯科補綴学教室の津賀一弘教授、吉田光由准教授ならびに吉川（園田）峰加准教授に謹んで感謝の意を表します。

ナカムラ病院
歯科医師　平岡　綾

▲会場にて

院外発表

■日本歯科衛生学会雑誌　Vol.11 No.1 2016 AUGUST
指定介護療養型医療施設および介護老人保健施設における要介護高齢者の口腔清掃の現状と課題
歯科衛生士　板木　咲子

■日本歯科衛生学会　第11回学術大会　2016年9月18日～19日
手指感覚を用いた舌抵抗訓練器具の有用性の検討
歯科衛生士　山根　次美

編集後記

夏の猛暑も過ぎ、秋口の涼しい風を感じられるようになってきました。

さて、「スポーツの秋」「読書の秋」「芸術の秋」などと言いますが、私にとっては断然食欲の秋！

栗ご飯、秋刀魚の塩焼き、モンブラン…。秋の味覚は想像するだけで食欲が増しますよね。

皆さまもご自身の好きなものや美味しいものを食べてこの秋を満喫されてみてはいかがでしょうか。（S）

PIAギャラリー

平成28年 10月 ▶ 平成29年 1月

今後の予定　※展示内容は一部変更する場合があります。

展示場所	期間・内容
第一展示コーナー	10月中旬▶12月中旬　ローテンブルク、アルプス、中国の旅　日本画・スケッチ展　柴田　功子
	12月下旬▶1月下旬　2017年　カレンダー展
第二展示コーナー	10月中旬▶12月中旬　広島市立大学芸術学部　学生有志作品展
	12月下旬▶1月下旬　2017年　カレンダー展